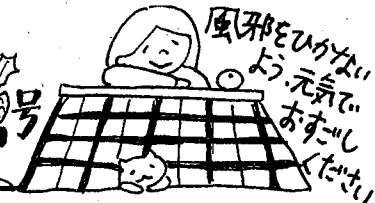




# おおみぞこみぞ通信 4号



2015年12月発行

ただ今、大溝城跡発掘調査中!

現地説明会が行われます

日時: 12月23日10時半

集合: 大溝城天守台跡前

11月下旬から、大溝城の天守台跡周辺で、高島市による発掘調査が行われています。調査の目的は、「天守台のあった本丸」の大きさを確認すること。天守台跡西側にある田んぼ(「陽光の里」うら側)の一部を掘り起こして、本丸の外周の石垣とお堀の位置を確認し、そこから本丸全体の大きさを割り出していく、という計画だそうです。

現地では、実際に、土の中から当時の石垣の石が「ゴロゴロ」と出ています。(これは必見です!!) ちなみに、本丸外周の石垣とその周囲のお堀は、分部落の時代にはすでに埋め立てが始められており、そんなことも削った土地の断面や出土した土器から読みとることができるのだそうです。(何だかワクワクしますネ!)

さて、そんなロマンある発掘調査の現地説明会が行われることになりました! 高島市教育委員会文化財課の調査員さんのお話しを聞きながら、実際にその発掘現場を見ることができるとも貴重な機会です。皆さん、ぜひお越しくださいね!



▲ 調査の様子。

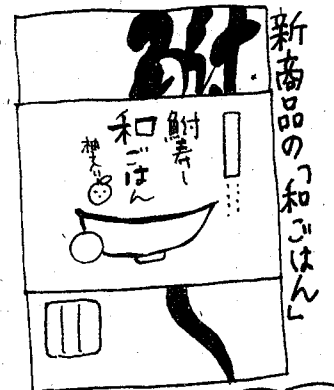
生の発掘現場は、面白い発見がいっぱいあります♪



## きたしなさんが再openされました

さる11月27日(イイフナのひ)に「きたしなさん」の名前で愛されてきた「400年魚付寿司総本家喜多品老舗」さんが再オープンされました。大溝が誇る食文化の一つ、きたしなさんの魚付寿司。地元の方からは、夏風邪をひいた時など薬代わりに食べていたという声も。再オープンの日は、近くはもちろんです、遠方からもきたしなさんファンが大勢来られて再開をよろこばれていました。

「地域全体の鬼まかとともに伝え発信していきたい」そうおっしゃる当主、北村真里子さん。「このお店は長年地域の中で育ててもらったことへの恩返しのお返しを込めて、毎月27日(フナのひ)には特別感謝セールとしてお手頃な商品も用意されているそうです。

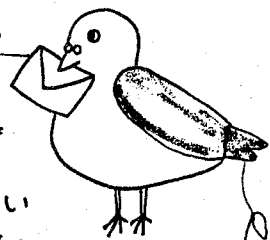


新商品の「和食はん」

店頭での試食もできるそうですよ♪

営業時間: 10時~17時  
※木曜日定休  
(臨時休業あります)

## 文化的景観についての雑考



なかなか耳慣れない「文化的景観」という言葉。平成17年4月1日の文化財保護法改正により設けられた新しいタイプの文化財です。文化財というと、古い建物や仏像、絵画といった有形あるものを連想すると思いますが、「文化的景観」はそれとは少し違います。文化財保護法によると、「地域における人々の生活又は生業及び、当該地域の風土により形成された景観地で、我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」(文化財保護法第二条第1項第五号)と定義されています。

お、難しいですネ...

もう少し易しく言い換えると、「その地域が独特の自然と人々の暮らし・営みによって生み出された風景」のことで、それには、「目に見える部分」(=景観)だけでなく、その背景にある、「目に見えない部分」(=そこに生きる人々の生活文化そのもの)までもが文化財として含まれています。「大溝祭」が指定されている「無形民俗文化財」に近いかもしれませんが。ただ、大溝祭に比べて、文化的景観では「何を受け継いでいくべきか」がはっきりとわかりやすく、その上、日常生活と密着したものであるため、生活様式が「変わっていくとともに「気がいたらなくなっていた」ということも起こりうるかもしれません。

大溝は文化的景観の中でも特に重要な価値をもつ地域として「重要文化的景観」に指定されました。この地域で「守っていくべきこと」と「変わってしまったとしても仕方のないこと」。

それが何なのかを「大溝の水辺景観まちづくり協議会」として、これから、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

シリーズ

### おおみそこみそ物語 no.3

大溝のまちの面白エピソードをお届けしています!

#### 『貴重なまちわり水路』編

現在、中町・西町・石垣町の通りには街路中央に水路が通っています。これらは、分部落が豊富な湧水を利用して生活と防火に備えた用排水施設として整備したもので、このような水路を城下のすべてに配した城下町は全国でも珍しく、分部落が単独時はもちろん、防災や庶民の生活までも配慮してまちづくりを行なった素晴らしい城下であつたことを知ることができます。今、このような水路は日本で7~8ヶ所しか現存せず、貴重なものとなっています。



▲ついでに30年程前まで「川で洗濯」の風景がありました。